

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公表番号】特表 2017-511720 (P2017-511720A)

【公表日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【年通号数】公開・登録公報 2017-017

【出願番号】特願 2016-554286 (P2016-554286)

【国際特許分類】

A 6 1 M 39/02 (2006.01)

A 6 1 M 25/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 39/02 1 1 0

A 6 1 M 25/02 5 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 14 日 (2019.5.14)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は、これら両方の課題に対処する。直線状の切開部は、皮膚を S I D の楕円形の縁にはめ込むように、最小限の長さにされる。楕円と円との概念が、絶対的な鍵である。円は皮膚を切除することを要するが、一方楕円は、皮膚を切除することのない直線の切開部を可能にする。これによって、装置が、取り外されたときに、傷がより容易に閉ざされ、言うまでもなく、外見上より一層許容可能になる。その縁自体が、皮膚アタッチメント装置のリップに配置された縫合穴における周辺係留によって付加的に固着された安定したプラットフォームを作り出す。さらに、チタンの蒸気プラストによって、爪床上の甘皮に類似した微小な付着部がある面を作り出す。これらの特徴は、細菌性及び真菌性感染に対するバリアとして必要な長期的インターフェイスを促進する。